



大人と子どもが競うのも地区運動会ならではの光景？（庄内地区運動会地区対抗リレー）

区部落の団結力が肝心です

毎年恒例の地区運動会の季節となり、9月26日の庄内地区を皮切りに、10月3日に御来屋地区、10月17日に光徳地区の運動会が、いずれも盛大に実施されました。

近所づきあいが疎遠になっていると言われる昨今ですが、どの地区でも区部落対抗のリレーや綱引きをはじめ趣向をこらした競技の数々に、老若男女大勢の人が参加し、区部落内の親交を深めました。

名和町最後のゴルフ大会！

第19回名和町ゴルフ大会が、10月11日に神田ゴルフクラブでおこなわれました。

あいにくの空模様ではありましたが、和気あいあいと親睦を深めつつも、一打に集中して熱戦を展開しました。成績は次のとおりです。

成績	(敬称略)	個人戦
		優勝 権田実雄(押平2区)
団体戦		第2位 榊原 進(御来屋10区)
		優勝 庄内チーム 第3位 権田義治(上福)



各地区からの参加者上位7人の合計得点を競う団体戦では、庄内チームが念願の初優勝

落語から学ぶ人情の大切さ

台風18号の影響で延期となっていた人権問題講演会が、10月12日に人権交流センターで実施され、67人が参加しました。

今年は、落語家の桂枝女太師匠を講師に迎え、「落語から学ぶ人情の大切さ」を演題に、落語を通じて言葉の持つ重み、近所づきあいでのコミュニケーションのあり方などを学びました。

古典落語「景清」を導入にした講演に、楽しみながら人権について学ぶことができました。



人権落語家の異名を取る枝女太師匠の軽快な話術に、会場全体がひきこまれました



つきたての餅は、みんなでできご餅にしておいしく食べました

実りの秋 にぎやかに収穫祭

あすなる児童館では、10月26日に収穫祭がおこなわれ、放課後児童クラブと庄内小学校の児童や先生、保護者の方々89人が参加して、餅つきを楽しみました。

この日使われたもち米は、児童館の栽培体験の一環として田植えから稲刈り・脱穀まで手作業でおこなった、ヒメノモチというもち米です。

昔ながらの杵と臼でついた餅はとてもおいしく、子どもたちは次々におかわりしていました。



中国での植林プロジェクトや水の再利用についても分かりやすく話してもらいました

自然と環境を考える

10月24日、名和町ふるさと祭と共催でことぶき学級が開かれました。

今回は、「自然と環境」というテーマで、名和町出身の高見邦雄さん(NGO緑の地球ネットワーク事務局長)の話の話を聞きました。

「自然は、ひとたび壊してしまうと修復はきわめてむずかしいものです。」という高見さんの言葉に、学級生のみなさんは大きくうなずいていました。

世界遺産研究会

10月7日、公民館の町づくり成人講座として、世界遺産研究会を開講しました。

今回は、シンガポール・ワルシャワ見聞録として、前米子児童文化センター館長、樋口直樹さんにお話していただきました。

シンガポールの日本人墓地や生活習慣また、ワルシャワで体験した社会主義国のあり方についての話を聞き、受講生からは、活発に質問が出ていました。



実際現地で生活していた人の話はとても興味深く、受講生は熱心に聞き入っていました

日頃の成果を発表

10月23日・24日の2日間、名和町ふるさと祭と共催で、公民館サークル発表会(展示の部)をおこないました。

各サークルの力作が展示され、あちこちで感嘆のため息がもれていました。

みなさんも、興味のあるサークルにぜひご参加ください。お待ちしております。



日ごろの活動の成果は、どれも力作ばかり。じっと見入る人々の姿が多く見られました

* 花づくりコンクール 結果発表 *

四季を通じて人々の心をなごませる花づくりをおこなっている、個人・団体を表彰する「花づくりコンクール」。今年で10回目となるこのコンクールの審査会が、10月19日、景観づくり推進員(美甘和幸さん、片岡京子さん、日野徹之さん)によっておこなわれました。

厳正な審査の結果、今年最優秀賞は、金田明子さん(坪田2区)決定。また、優秀賞、アイデア賞など、計11団体・個人の受賞が決まり、10月24日の「名和町ふるさと祭」にあわせて表彰式がおこなわれました。



* 審査結果 * (敬称略)

- 最優秀賞 金田明子(坪田2区)
- 優秀賞 石田勝江(茶畑)
名和小学校
- アイデア賞 牧慶子(坪田3区)
- 景観賞 御来屋1区・2区自治会
駅前自治会
- 奨励賞 兒嶋興二(陣構)
今出美穂(のぞみ区)
小谷苑
近藤禎子(上前谷)
- 努力賞 御来屋地区婦人会



最優秀賞 金田明子さん(坪田2区)



奨励賞 兒嶋興二さん(陣構)



景観賞 駅前自治会

イキイキネットワーク 話題を追って

いつもそばに絵本が

10月15日に、ふれあい会館で“親学”講座が開かれ、米子市のアトリエひなたぼっこ(こども絵画創作教室)の野坂弥代美さんが『いつもそばに絵本があった』というテーマで講演されました。

野坂さんは、「子どもには、家族に愛されて育ったという思いが大切。絵本には、テレビやビデオでは伝わらない暖かさがあります。人間は、人間が育てましよう」と話されました。



野坂さんは、自分の子育ての体験の中から、絵本と日常的にふれあうことの重要性を強調

“親学”講座

小学生が浦安の舞を披露

実りの季節を迎え、町内各所でにぎやかに秋祭りがおこなわれています。

押平神社でも、10月9日に例祭がおこなわれ、この中で、庄内小学校の6年生児童6人が「浦安の舞」を奉納しました。

慣れない装束に身を包み、子どもたちはかなり緊張した様子でしたが、神社の氏子や保護者が見守る中、9月からの練習の成果を見事に披露しました。



浦安の舞の奉納は、毎年、庄内小学校6年生の氏子女子児童がおこなっています

押平神社例祭

県展入選者

鳥取県と鳥取県教育委員会が主催する、第48回県展(鳥取県美術展覧会)に、名和町から次の方々が入選されました。おめでとうございます。
(敬称略)

【洋画の部】

私日記0から50「開けてはいけないMの引き出し」
山内 信

【版画の部】

境内涼風
秋山 龍之介
杉原 亜澄

【書道の部】

白樂天詩
船原 清軒
初夏間居
角田 栄芳

【写真の部】

LalaLa
湊谷 紀子
Life
高橋 康子

